



Windows Server® 2008

Microsoft

Windows Server 2008 時代の サーバー運用管理

マイクロソフト株式会社

本日の内容

- Windows Server 2008 新機能と強化点
 - 管理性の強化
 - 堅牢性の強化
 - 柔軟性の強化
- まとめ

Windows Server OS の進化

- Windows Server 2008
 - 基本アーキテクチャは変えずに機能強化
 - 新しい利用形態の提供

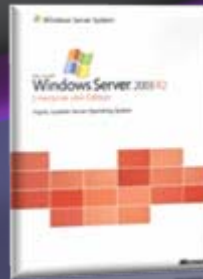


2000年



Do More with Less

2003年



2005年

- 管理性、堅牢性、柔軟性の向上
- 新たな利用形態の提供

- セキュリティ/柔軟性/パフォーマンスの大幅な強化
- IT インフラとしての管理機能を強化
 - ポリシー管理 (GPMC)、パッチ管理 (WSUS)、
 - 権限管理 (RMS)、ストレージ リソース管理 (R2 より)

- Active Directory の実装
- LDAP, Kerberos, DNS, PKI 等の標準技術の採用
- クライアント PC 管理

Windows Server 2008

管理性の強化

日々の管理業務に
費やす時間の削減



- サーバーの役割と機能の容易な管理
 - ✓ 初期構成タスク
 - ✓ サーバーマネージャ
- コマンドベースの管理と管理タスクの自動化
 - ✓ PowerShell
 - ✓ Remote Shell
- ファイルシステムとバックアップの進化
 - ✓ トランザクショナル NTFS
 - ✓ SMB2.0
 - ✓ Windows Server バックアップ
- 最小構成によるメンテナンス負荷の低減
 - ✓ Server Core

堅牢性の強化

サーバーとネットワークを
脅威から保護



- ID 管理とアクセス制御の強化
 - ✓ Active Directory サービス
- ネットワークの検疫
 - ✓ ネットワークアクセス保護(NAP)
- サーバーの保護
 - ✓ Windows ハードニング
 - ✓ BitLocker ドライブ暗号化
 - ✓ 強化されたWindows ファイアウォール
- ダウンタイムを削減する高可用性
 - ✓ フェールオーバー クラスタリング

柔軟性の強化

ビジネス ニーズの
変化に迅速に対応



- アクセス場所に左右されないアプリケーション環境
 - ✓ ターミナルサービス
- ハイパフォーマンスなサーバー仮想化テクノロジー
 - ✓ Hyper-V
- コンピュータの迅速な展開を支援
 - ✓ Windows 展開サービス(WDS)
- 強力なWeb アプリケーション基盤
 - ✓ インターネット インフォメーションサービス 7 (IIS 7)
 - ✓ .NET Framework

サーバーの役割と機能の容易な管理

- ✓ 初期構成タスク
- ✓ サーバーマネージャ

初期構成タスク

初期構成タスク

このサーバーの初期構成を行うには次のタスクを実行します

Windows Server 2008 Enterprise

1 コンピュータ情報の提供 [? コンピュータ情報の指定\(Y\)](#)

タイムゾーンの設定(Z)	タイムゾーン:	(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京
ネットワークの構成(N)	ローカル エリア接続: ローカル エリア接続 2:	192.168.10.1 192.168.10.2
コンピュータ名とドメインの入力(T)	フル コンピュータ名: ドメイン:	WS2008DC.corp2008.local corp2008.local

2 このサーバーを更新 [? Windows サーバーの更新\(U\)](#)

自動更新とフィードバックを有効にする(E)	更新: フィードバック:	更新プログラムを確認しない Windows エラー報告オフ カスタム エクスプレス向上プログラムに参加する
更新プログラムのダウンロードとインストール(O)	更新プログラムの最終確認日時: 更新プログラムのインストール日時:	なし なし

3 このサーバーのカスタマイズ [? サーバーのカスタマイズ\(M\)](#)

役割の追加(A)	役割:	Active Directory Rights Management サービス、Active Directory ドメイン サービス、Active Directory 証明書サービス、DHCP サーバー、DNS サーバー、Web サーバー (IIS)、Windows SharePoint Services、ターミナル サービス、...
機能の追加(F)	機能:	.NET Framework 3.0 の機能、HTTP プロキシを経由した RPC、Windows Internal Database、Windows PowerShell、Windows システム リソース マネージャ、Windows プロセス アクティブ化サービス、グループ ポリシーの管理、メッセージ キュー、...
リモート デスクトップを有効にする(K)	リモート デスクトップ:	有効
Windows ファイアウォールの構成(O)	ファイアウォール:	有効

ログオン時にこのウィンドウを表示しない(D) [閉じる\(C\)](#)

- インストール中の入力は最小限
- インストール直後の既定の構成を表示
- インストール直後にすべき基本設定を確実に

サーバー マネージャ

- **サーバー構成のための統一された管理画面**
 - サーバーの設定状況の確認
 - サーバーへの役割や機能の追加・削除・構成
 - ウィザードで複数の機能を並行インストール
 - 役割・機能の追加の中で、必要となる機能も自動的にインストールされる
- **サーバー管理ツールのランチャーとして**
 - サーバーのステータスの表示
 - 主要な管理タスクの実行
 - サーバー管理ツールへのガイド



サーバー マネージャ

役割の概要

サーバー マネージャ

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)

サーバー マネージャ (NAPLHS)

役割

- Active Directory ドメイン サービス
- Active Directory 証明書サービス
- DHCP サーバー
- DNS サーバー
- Web サーバー (IIS)
- ターミナル サービス
- ネットワーク ポリシーとアクセス サービス
- ファイル サービス

機能

- グループ ポリシーの管理
- 診断
- 構成
- 記憶域

ターミナル サービス

ターミナル サービスは、Windows ベースのプログラムを実行するサーバー、または Windows デスクトップ全体へのアクセスを可能にするテクノロジーを提供します。

概要

イベント: 過去 24 時間に 1 個のエラー イベント、1 個の警告イベント、3 個の情報イベント 個

5 イベント

レベル	Level	Event ID	Date and Time	Source
情報	情報	0	2007/05/22 13:37:01	TerminalServices-Licensing
エラー	エラー	4140	2007/05/22 13:37:00	TerminalServices-Licensing
情報	情報	3	2007/05/22 13:36:54	TerminalServices-Licensing
情報	情報	101	2007/05/22 13:36:33	TerminalServices-Gateway
警告	警告	400	2007/05/22 13:36:29	TerminalServices-Gateway

システム サービス: すべて実行中

表示名	サービス名	状態	スタートアップの...	モニタ
Terminal Services	TermService	実行中	自動	はい
ターミナル サービス ゲートウェイ	TSGateway	実行中	自動	はい
ターミナル サービス ライセンス	TermServLicen...	実行中	自動	はい

説明:
ユーザーがリモート コンピュータに対話的に接続できるようになります。リモート デスクトップおよびターミナル サービスは、このサービスに依存します。このコンピュータをリモートで使えないようにするには、[システム] コントロール パネルの [リモート] タブのチェックボックスをオフにしてください。

役割サービス: 4 個がインストールされています

役割サービス	状態
ターミナル サーバー	インストール済み
TS ライセンス	インストール済み
TS セッション ブローカ	インストールされていません
TS ゲートウェイ	インストール済み
TS Web アクセス	インストール済み

詳細ツール

ターミナル サーバーへの接続に必要な TS クライアント アクセス ライセンス (TS CAL) を管理します

最終更新日: 2007/05/22 13:48:37 最新の情報への更新の構成

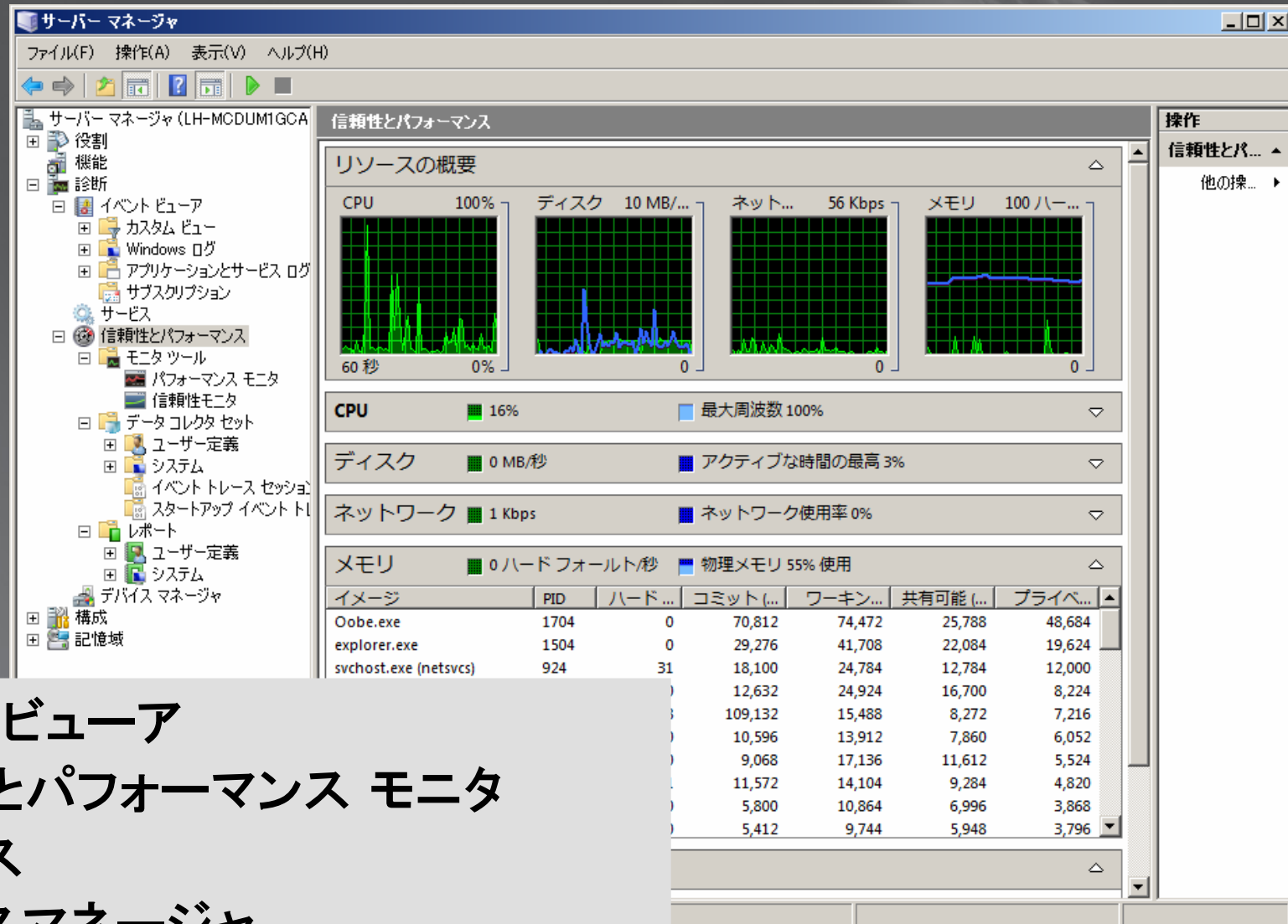
役割の関連
イベントのクエリ

サービスの
実行ステータス

インストールのステータス

サーバー マネージャ

診断

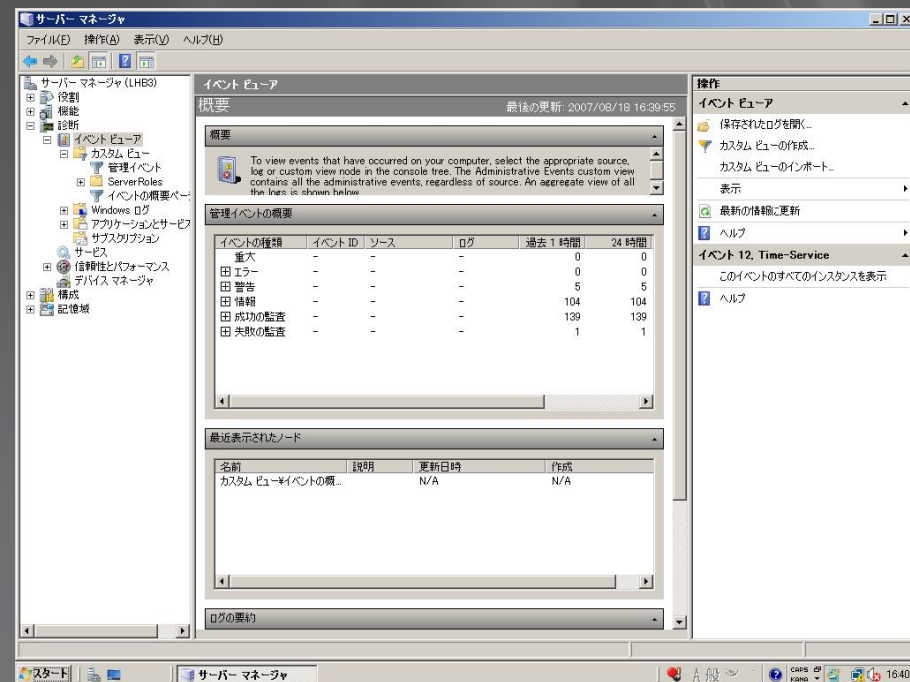


- イベントビューア
- 信頼性とパフォーマンス モニタ
- サービス
- デバイスマネージャ

サーバー マネージャ

新しいイベント管理機能

- サマリ表示
 - サマリ画面から目的のログへアクセス
- カスタム ビュー
 - 目的のイベント ログのみを表示可能に
- イベント サブスクリプション
 - 複数マシン上のイベント ログを集約
 - WS-Management 準拠の
インタフェース
(DCOM/RPC からの開放)
- タスク連携
 - イベント ビューアからタスクを作成
- XML ベースのログ保存



サーバー マネージャ

信頼性モニタ

信頼性とパフォーマンス モニタ

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) お気に入り(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

信頼性とパフォーマンス

- モニタ ツール
 - パフォーマンス モニタ
 - 信頼性モニタ
- データ コレクタ セット
 - ユーザー定義
 - 週間報告書データ
- システム
 - イベントトレース セッション
 - スタートアップ イベントトレース セッ
- レポート
 - ユーザー定義
 - 週間報告書データ
- システム
 - Active Directory Diagnostics
 - LAN Diagnostics
 - System Diagnostics
 - System Performance

信頼性モニタ

システム安定性グラフ 更新日時: 2007/05/17

2007/05/10

インデックス: 7.64

ソフトウェアのインストールまたはアンインストール
アプリケーション エラー
ハードウェア エラー
Windows エラー
その他のエラー

システム安定性レポート

システム クロックの変更 : 2007/05/10

古い時刻	新しい時刻	日付
2007/05/09 23:18:08	2007/05/10 11:39:38	2007/05/10

ソフトウェアのインストールまたはアンインストール : 2007/05/10

ソフトウェア	バージョン	動作	動作の状況	日付
UMBus Enumerator	6.0.6001.16510	ドライバのインストール	成功	2007/05/10

アプリケーション エラー : 2007/05/10

アプリケーション	バージョン	エラーの種類	日付
mmc.exe	6.0.6001.16510	動作が停止しました	2007/05/10

ハードウェア エラー : 2007/05/10

Windows エラー : 2007/05/10

その他のエラー : 2007/05/10

サーバーマネージャ コマンドライン

- 初期構成、構成確認の効率化が可能
ServerManagerCmd.exe
 - -query 現在の構成の問い合わせ
 - ServerManagerCmd.exe -query
 - -install, -remove 1つの役割・機能を追加・削除
 - ServerManagerCmd.exe -install Web-Server -resultPath installResult.xml
 - -inputPath XMLアンサーファイルにより自動化
 - 複数の役割・機能を追加・削除
 - ServerManagerCmd.exe -inputPath install.xml -whatIf

```
C:\Users\Administrator>servermanagercmd -query
..
----- 役割 -----

[ ] Active Directory Rights Management サービス
  [ ] Active Directory Rights Management Server
  [ ] ID フェデレーション サポート
[X] Active Directory ドメイン サービス
  [X] Active Directory ドメイン コントローラ [ADCS-Domain-Controller]
  [X] UNIX 用 ID 管理 [ADCS-Identity-Mgmt]
  [X] NIS サーバー [ADCS-NIS]
  [ ] パスワード同期 [ADCS-Password-Sync]
  [X] Administration Tools [ADCS-IDMU-Tools]
[ ] Active Directory フェデレーション サービス
  [ ] フェデレーション サービス [ADFS-Federation]
  [ ] フェデレーション サービス プロキシ [ADFS-Proxy]
  [ ] AD FS Web エージェント [ADFS-Web-Agents]
  [ ] 要求に対応するエージェント [ADFS-Claims]
  [ ] Windows トークン ベースのエージェント [ADFS-Windows-Token]
[ ] Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス [ADLDS]
[X] Active Directory 証明書サービス [AD-Certificate]
  [X] 証明機関 [ADCS-Cert-Authority]
  [X] 証明機関 Web 登録
  [ ] OnLine Responder [ADCS-OnLine-Cert]
```

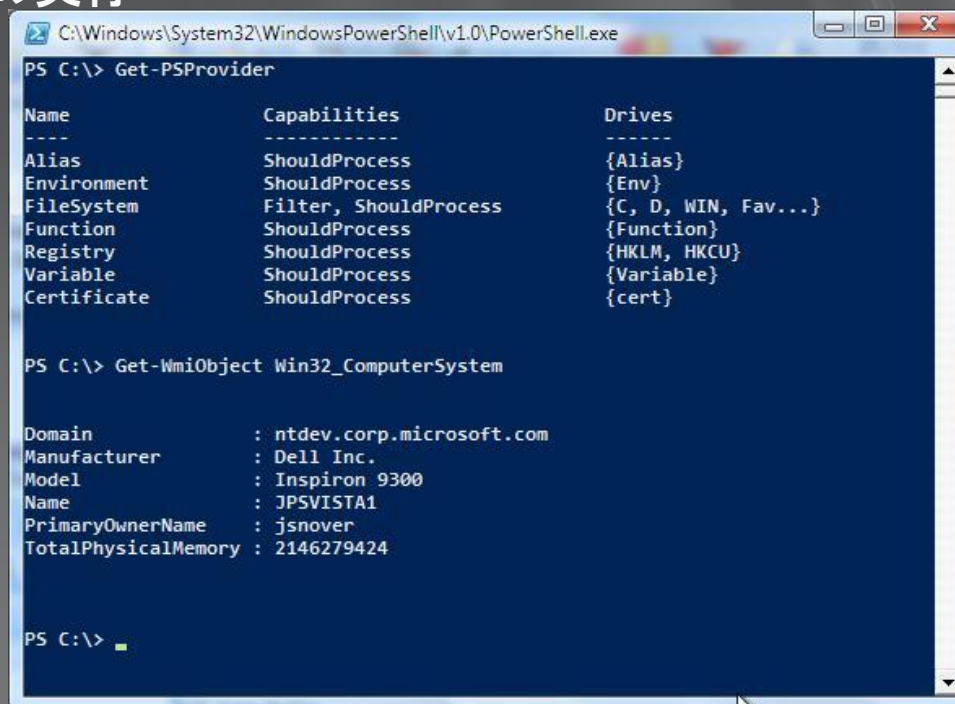
コマンドベースの管理と 管理タスクの自動化

- ✓ PowerShell
- ✓ Remote Shell

Windows PowerShell

次世代 コマンド ライン シェル & スクリプト言語

- システム管理における生産性の向上
- マイクロソフト・3rd Party 製品での対応コマンドの提供による拡張性 (Exchange 2007 など)
- 管理タスクの簡略化・自動化
 - WMI オブジェクトを通じたコマンドによる状態・設定の確認や変更
 - スクリプトによる高度なタスクの実行
- データへのアクセス
 - サービス
 - プロセス
 - ストレージ
 - レジストリ
 - 証明書ストア
 - WMI
 - ADSI
 - XML など



```
C:\Windows\System32\WindowsPowerShell\v1.0\PowerShell.exe
PS C:\> Get-PSProvider

Name                Capabilities                Drives
-----                -
Alias                ShouldProcess                {Alias}
Environment          ShouldProcess                {Env}
FileSystem           Filter, ShouldProcess       {C, D, WIN, Fav...}
Function             ShouldProcess                {Function}
Registry             ShouldProcess                {HKLM, HKCU}
Variable            ShouldProcess                {Variable}
Certificate          ShouldProcess                {cert}

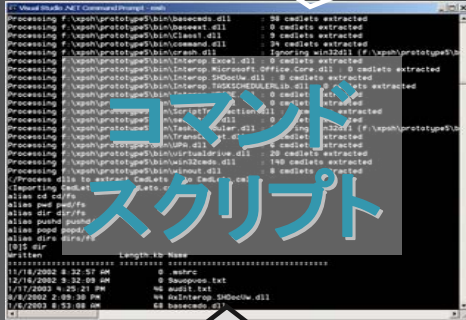
PS C:\> Get-WmiObject Win32_ComputerSystem

Domain                : ntdev.corp.microsoft.com
Manufacturer          : Dell Inc.
Model                 : Inspiron 9300
Name                  : JPSVISTA1
PrimaryOwnerName     : jsnover
TotalPhysicalMemory   : 2146279424

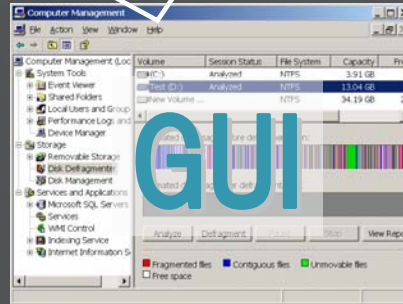
PS C:\>
```

Windows PowerShell

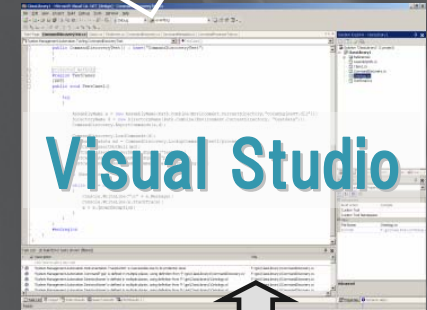
スクリプトで自動化



ユーザーフレンドリー



拡張性



GUI のツールを PowerShell 上に実装

PowerShell Engine

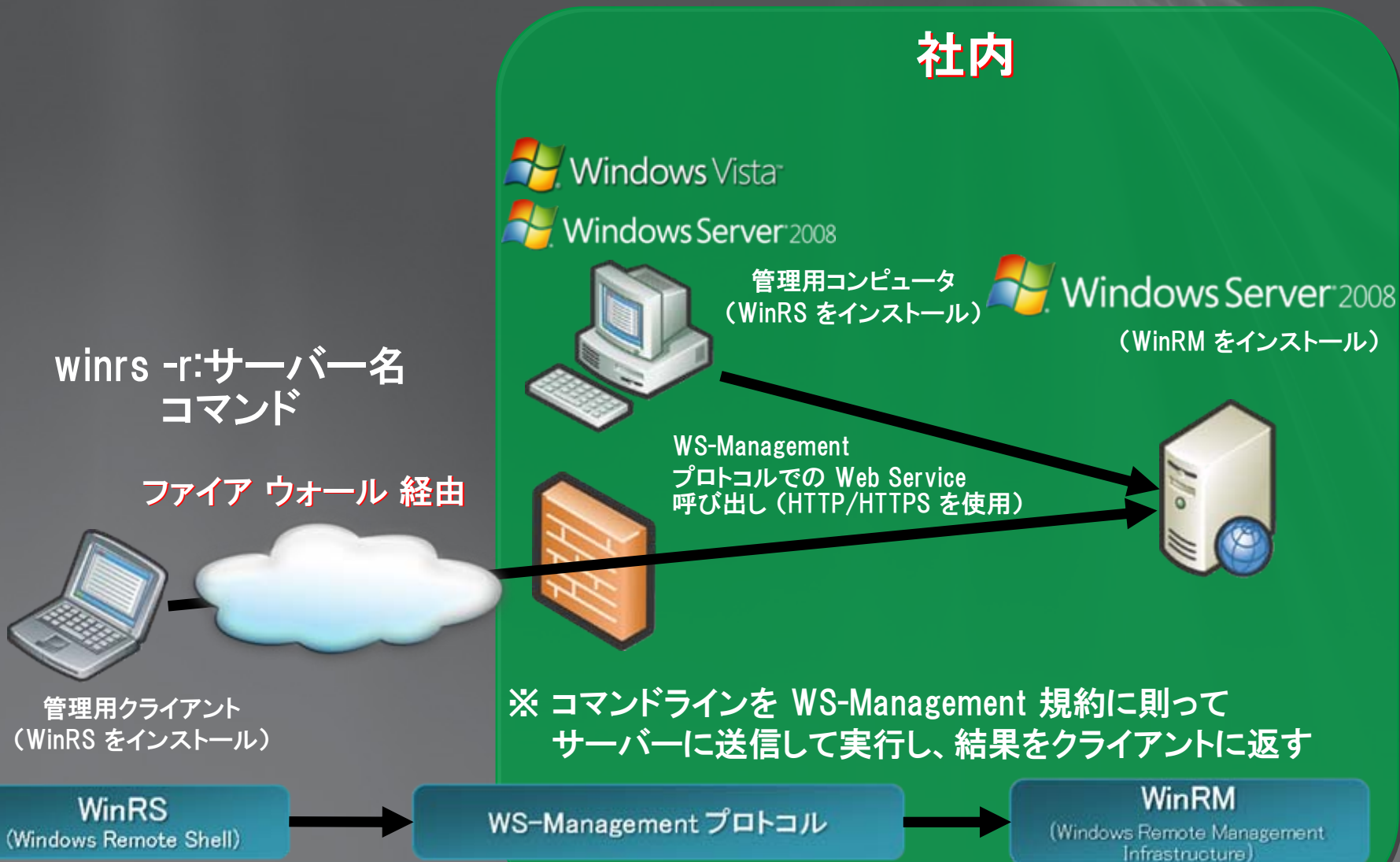
Exchange Server 2007 をはじめ、サーバー製品も順次 PowerShell に対応



管理対象

Windows Remote Shell

Web Service ベースのリモートからのコマンド管理

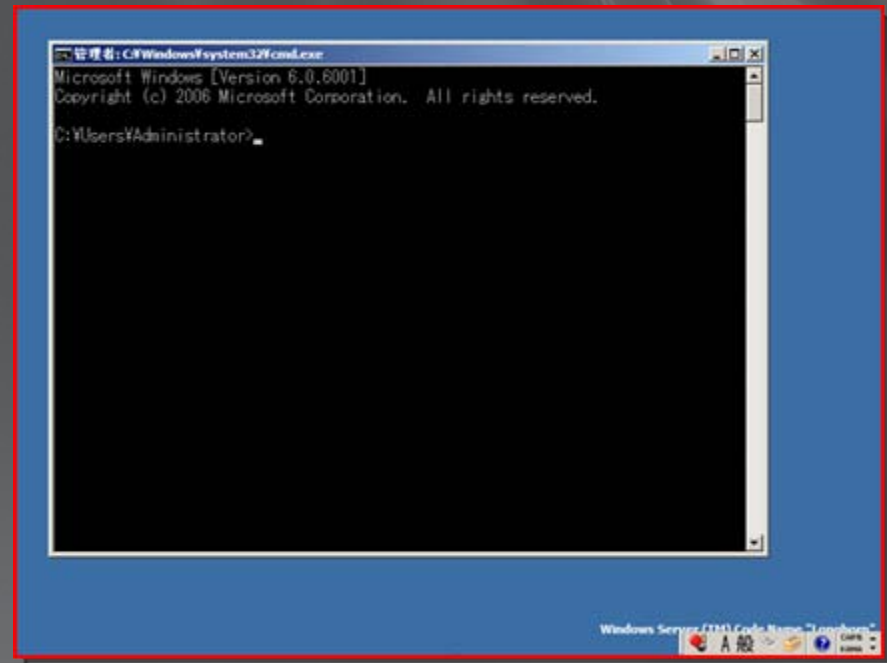


最小構成による メンテナンス負荷の低減

✓ Server Core

Server Core

- 最小限のコンポーネントで専用サーバーを構築可能
 - ドメインコントローラ などの限定用途
- デスクトップ/GUI 無し
 - 各種コマンドからの管理
 - MMC でリモートから操作
- 利点
 - 攻撃対象の削減と必要となるセキュリティ更新プログラムの削減
 - 管理、保守対象の削減による運用の効率化と信頼性の強化
 - 軽いサーバー = ハードウェア集約/仮想化へ



Server Core

インストール可能な役割・機能

- **役割(ロール)**
 - Active Directory ドメインサービス
 - ファイルサーバー
 - プリントサービス
 - DNS サーバー
 - DHCP サーバー
 - Hyper-V
 - ストリーミング メディア サービス
 - IIS (ただしASP.NETは動作不可)
- **機能**
 - WINS サーバー
 - Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス
 - フェールオーバー クラスタリング
 - ネットワーク負荷分散
 - UNIX ベース アプリケーション用サブシステム
 - Windows Server バックアップ
 - マルチパス I/O
 - リムーバブル記憶域マネージャ
 - BitLockerドライブ暗号化
 - SNMP
 - Telnet クライアント

Server Core アーキテクチャ

Server Core 環境

完全インストール環境

サーバーの役割

DNS	DHCP	ファイルサーバー	AD DS (AD LDS)	プリントサーバー	IIS7.0	Hyper-V
-----	------	----------	----------------	----------	--------	---------

サーバーの役割

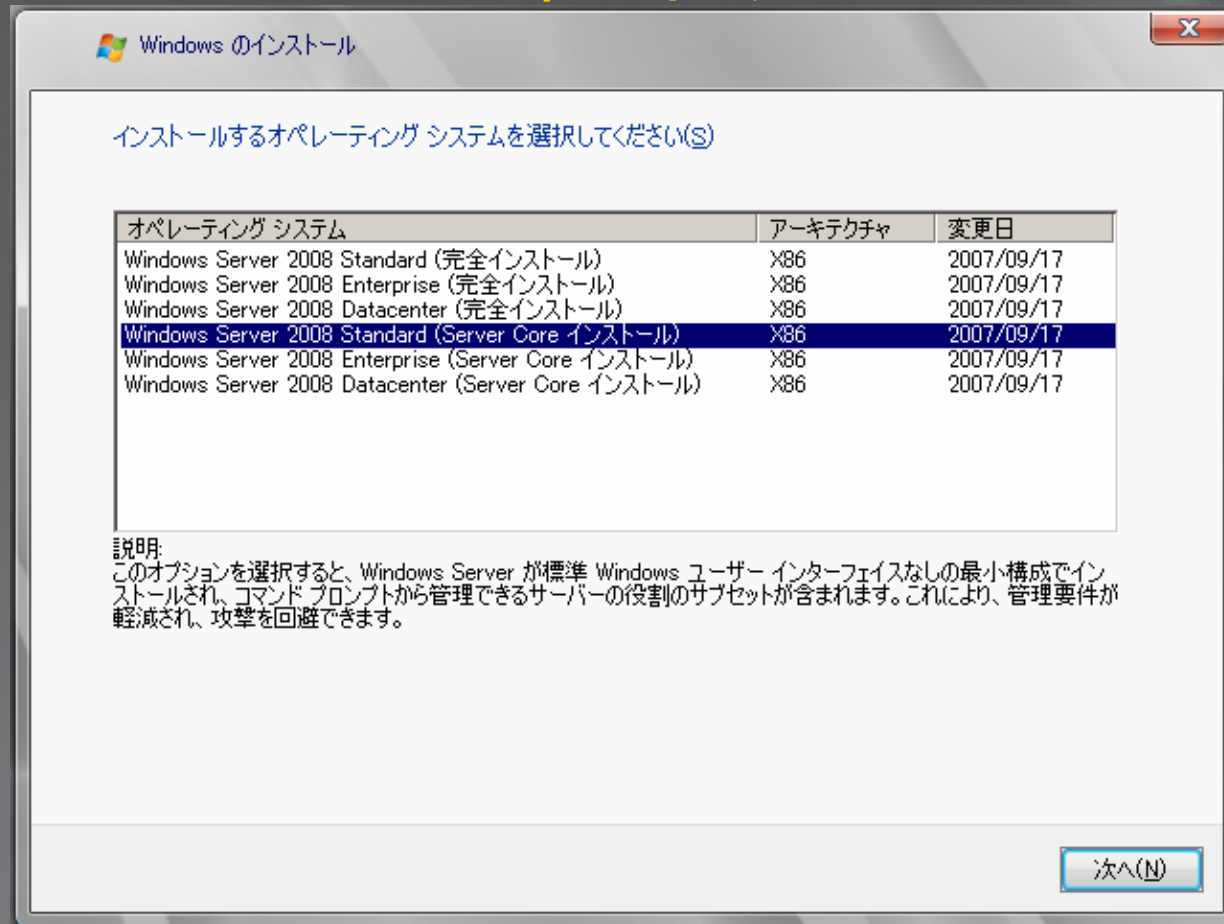
TS	IP	アプリケーションサーバー	etc...
----	----	--------------	--------

~~基本機能
GUI、Media Player、
.NET Framework Shell, MMC
など~~

サーバーのコア機能

セキュリティ, TCP/IP, ファイルシステム, RPC,
その他のコア サーバシステム機能

Server Core インストール



- インストール時に完全インストール か Server Core か を選択
- インストール方法は新規のみ
 - 既存 OS からのアップグレードはサポートされない

ID 管理とアクセス制御の強化

- ✓ Active Directory サービス

Active Directory サービス

- ID & アクセス管理に関連した各種サービスを「Active Directory サービス」として統合
 - 統一されたアーキテクチャの下、各サービスの関係を強化
 - 複雑性の削減、展開の簡略化、管理性の向上を実現し、新機能が必要になった際に、迅速に構成することが可能に
 - サーバーの役割として提供

Active Directory サービス



Windows Server 2008



Active Directory
ドメイン
サービス
(AD DS)



Active Directory
証明書
サービス
(AD CS)



Active Directory
フェデレーション
サービス
(AD FS)



Active Directory
ライトウェイト
ディレクトリ
サービス
(AD LDS)



Active Directory
Rights
Management
Services
(AD RMS)

Active Directory サービス (1)



Active Directory ドメイン サービス (AD DS) ドメイン サービス

- 従来からの Active Directory
- セキュリティと柔軟性を強化、管理性を向上



Active Directory 証明書サービス (AD CS) 電子証明書の発行と管理

- 証明書サービスの後継機能
- エンタープライズ環境向けに機能強化



Active Directory フェデレーション サービス (AD FS) 組織を超えた異なる認証基盤の連携

- WS-Federation、WS-Security などに準拠した相互接続性
- HTTP ベースのフェデレーション
- IIS 7.0 に対応

Active Directory サービス (2)



Active Directory ライトウェイトディレクトリ サービス (AD LDS)

アプリケーション用の LDAP ディレクトリ サービス

- AD AM (Active Directory Application Mode) の機能を網羅



Active Directory Rights Management Services (AD RMS)

アプリケーションと連携したデジタル コンテンツ保護

- Windows Rights Managements Services (RMS) を Active Directory サービスに統合
- AD FS と連携し、組織を超えたコンテンツ保護を新たに実現

Active Directory ドメイン サービス

新機能

- ドメイン機能のサービス化
 - ドメイン機能のみ再起動可能
- 読み取り専用ドメイン コントローラ(RODC)
 - 分散拠点における最適かつセキュアな DC 配置を可能に
- グループ ポリシーの強化
 - Windows Server 2008 / Vista に対応したポリシー項目の追加
 - ADMX = 多言語対応したXMLベースのポリシー定義
- さらなるセキュリティの向上と統制
 - 監査機能の拡充
- ふりがな属性の追加
 - ユーザーオブジェクトに対し、「よみ」でソート・検索が可能に
- きめ細かなパスワード ポリシー
 - 従来のドメイン単位ではなく、ユーザーもしくはセキュリティグループごとのパスワード ポリシーが設定可能
- Active Directory のスナップショット参照
 - 過去のディレクトリ データベースの参照が可能

Active Directory ドメイン サービス

読み取り専用ドメインコントローラ (RODC)

特徴

- 読み取り専用のため、間違った変更がドメイン全体に影響することがない
- 特定の非管理者ユーザーのパスワード ハッシュのみ保持

メリット

- セキュリティを物理的に保証できない場所にも、ドメイン コントローラを展開可能
- レプリケーションの設計、監視に必要な作業が軽減
- 分散拠点のユーザーは、ログオン時間が短縮され、認証リソースに効率的にアクセス



Active Directory ドメインサービス 管理者役割の分離

- ドメイン管理権限を与えずに、一般ユーザーに RODC の管理権限を委任
- マシンの操作：ローカル administrator 権限
 - サーバーの保守作業が可能
- ドメインの操作：user 権限
 - ドメインに対する管理権限なし
 - 他の DC に対する管理権限なし
- RODC のインストール時に指定 (あとから変更も可能)
 - 1ユーザーまたは 1グループのみ指定可能



Active Directory ドメイン サービス

ふりがな属性の追加

- msDS-Phonetic xxx プロパティ を追加
- 「よみ」でソート、検索が可能に

ふりがな属性の追加項目

- 姓
- 名
- 表示名
- 会社名
- 部署

坂本 龍一のプロパティ

全般 | 住所 | アカウント | プロファイル | 電話 | 組織 | 所属するグループ | ダイヤルイン | 環境 | セッション | リモート制御 | ターミナル サービスのプロファイル | COM+ | ふりがな

姓(L): さかもと
坂本

名(E): りゅういち
龍一

表示名(D): さかもと りゅういち
坂本 龍一

会社名(O): まいくろそふとかぶしがいいしゃ
マイクロソフト株式会社

部署(E): えいぎょうぶ
営業部

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

[ユーザーの プロパティ]

Active Directory ドメイン サービス

機能レベル

- 機能レベル
 - ドメイン機能レベル
 - Windows 2000 ネイティブ / Windows Server 2003 / Windows Server 2008
 - フォレスト機能レベル
 - Windows 2000 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008
- 以前のバージョンとの互換性
 - Windows Server 2008 を DC として追加するためには、Windows 2000 ネイティブ以上のモードが必要
 - Windows NT のドメイン コントローラ(BDC)は混在不可
 - Windows Server 2008 の新機能によっては、Windows 2000 Server、Windows Server 2003 の DC との混在が不可
 - 読み取り専用 DC
 - フォレスト全体で Windows Server 2003 以上
 - きめ細かなパスワード ポリシー
 - ドメインで Windows Server 2008 以上

AD Rights Management Services

- 概要
 - 文書(ドキュメント、メール)の取扱いを制御
 - 印刷の制限
 - コピー & ペーストの制限
 - メール転送の制限
- 新機能
 - インストールの改善
 - サーバーの役割としてインストール
 - 使いやすくなった管理コンソール
 - MMC による一元管理
 - 権利ポリシーテンプレート
 - フェデレーションのサポート
 - AD FS との連携
 - 組織間で保護されたRMS 文書のやり取りが可能
 - 役割に応じた管理者権限
 - AD RMS Enterprise Administrators
 - AD RMS Template Administrators
 - AD RMS Auditors
 - AD RMS Service Group



アクセス場所に左右されない アプリケーション環境

✓ターミナルサービス

ターミナル サービス

新機能 & 強化点

● RemoteApp

- デスクトップ画面全体ではなくアプリケーションを個別に公開
- アプリケーション展開の問題を大幅に改善
- MSI(RDP 設定のみ)、グループ ポリシーによる展開
- TS Web アクセスをアプリケーションのランチャーとして利用可能

● TS Web アクセス

- ブラウザからのリモートプログラムの起動
- Web Parts によるアプリケーションのポータル

● TS ゲートウェイ

- RDP over HTTPS
- VPN や専用ポートを必要としない外部からのアクセス
- NAP と連携した接続時の検疫

● TS Easy Print

- サーバー側にプリンタドライバが不要に
- クライアント側のプリンタドライバを利用して印刷

RemoteApp

- デスクトップ全体ではなく、アプリケーション ウィンドウ単位でターミナル サービスを提供
- あたかもローカル上のアプリケーションのように利用可能

RDP 6.x クライアント



操作情報



ターミナル サーバー



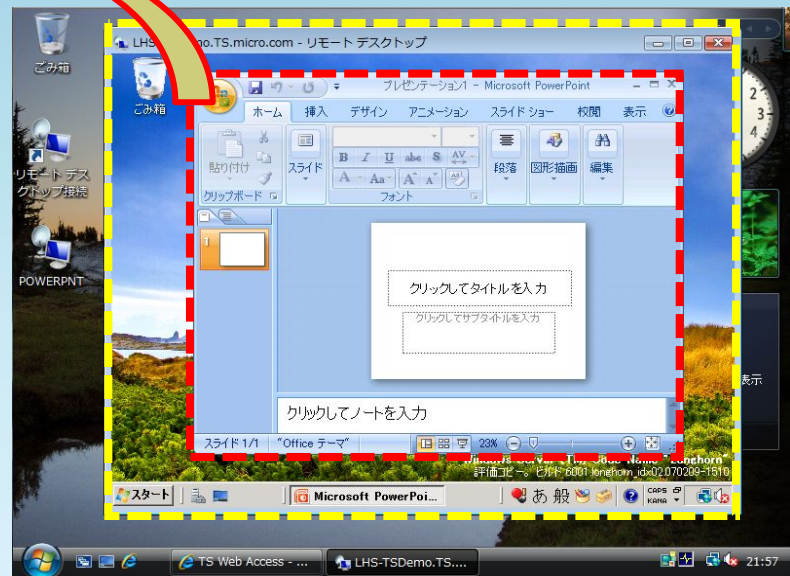
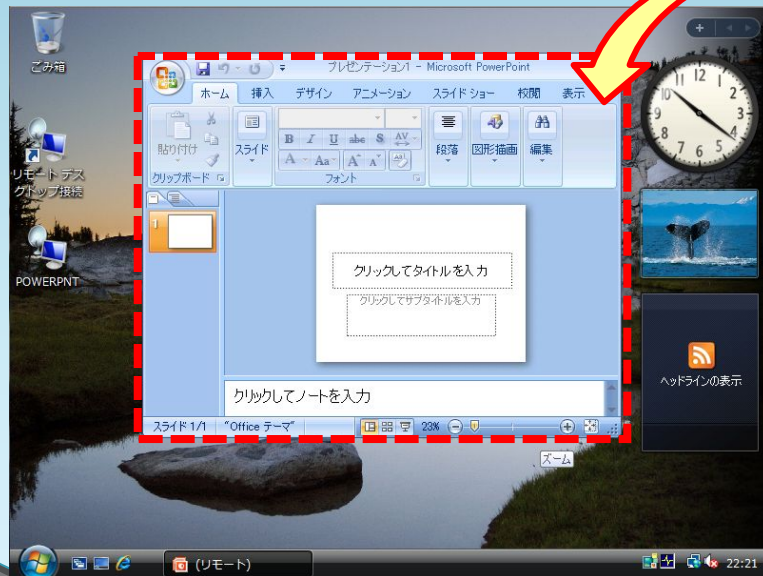
画面出力



ウィンドウ部分のみ表示

RemoteApp

リモート デスクトップ



RemoteApp

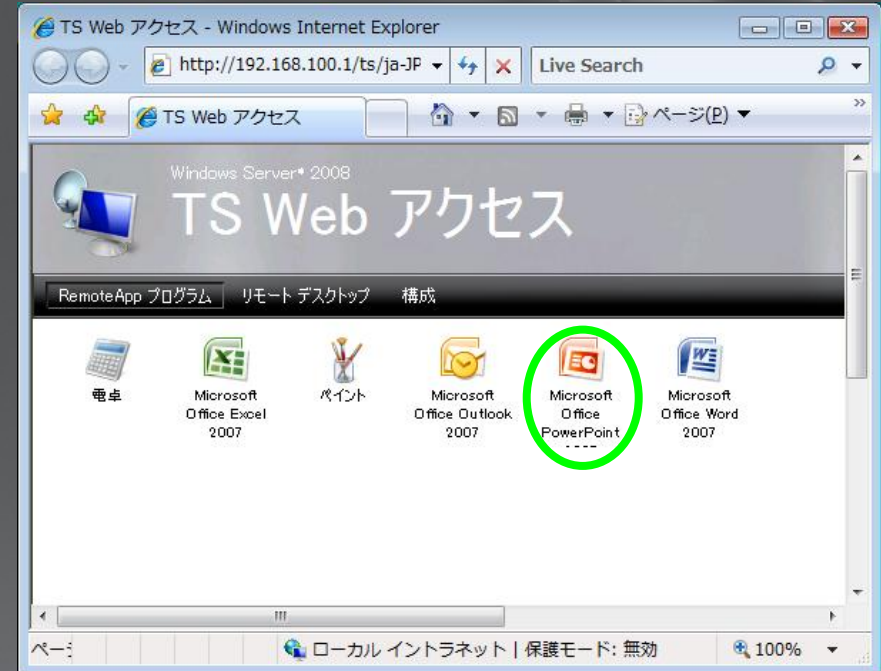
● 2つの起動形態

① デスクトップから起動



アイコンや
スタートメニュー
をクリック

② TS Web アクセスから起動

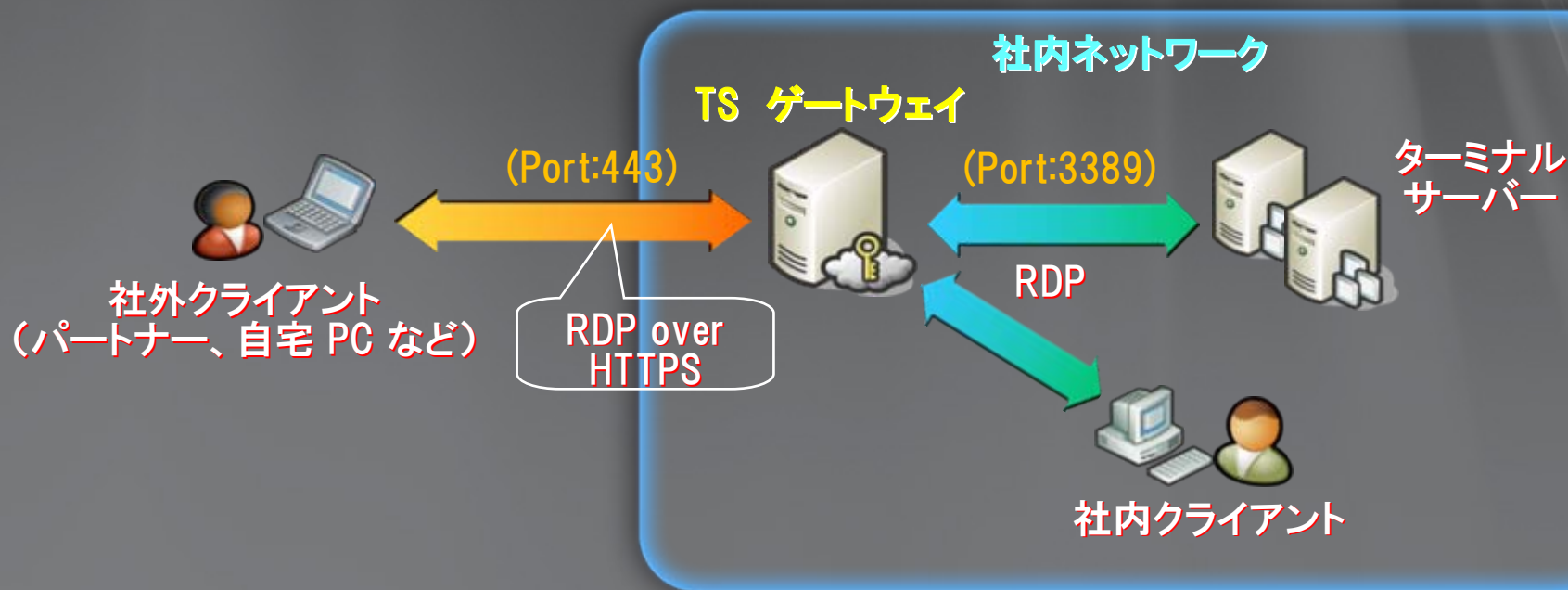


リスト上の
アイコンをクリック



TS ゲートウェイ

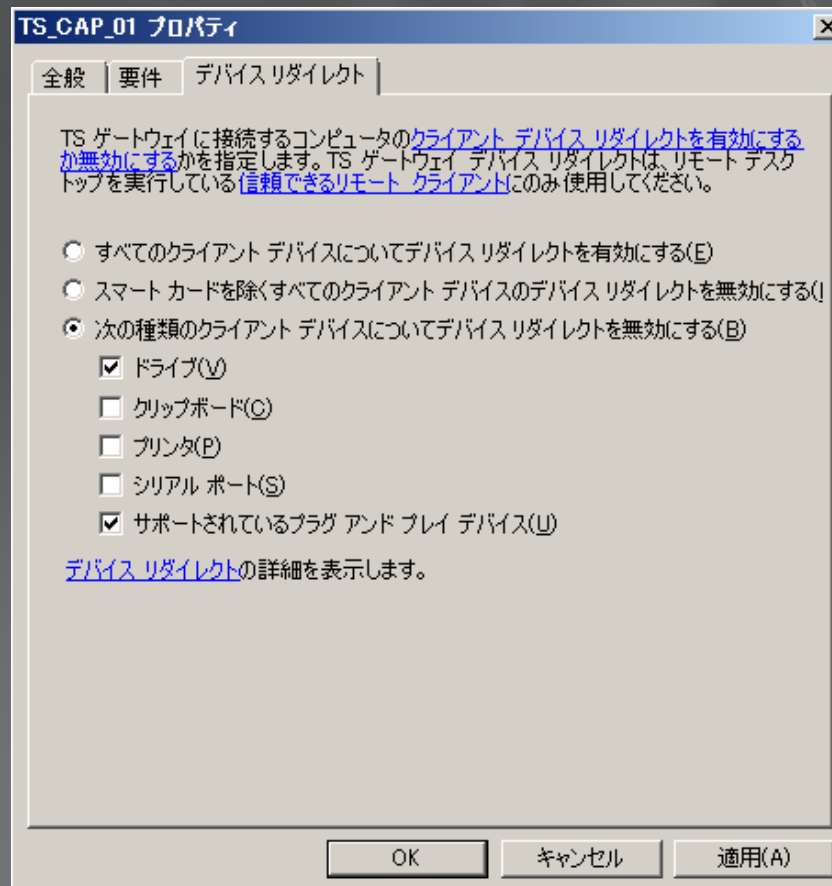
- より柔軟なユーザー アクセス環境の実現
 - VPN や専用ポートを必要とせず、外部からインターネット経由でのアクセスが可能に
- より柔軟なアクセス制御の実現
 - TS ゲートウェイにより、ポリシー ベースのアクセス制御が可能に
 - NAP と連携して、クライアント検疫が可能に
- リモート デスクトップ、RemoteApp とともに利用可能



ローカル デバイスの利用制限

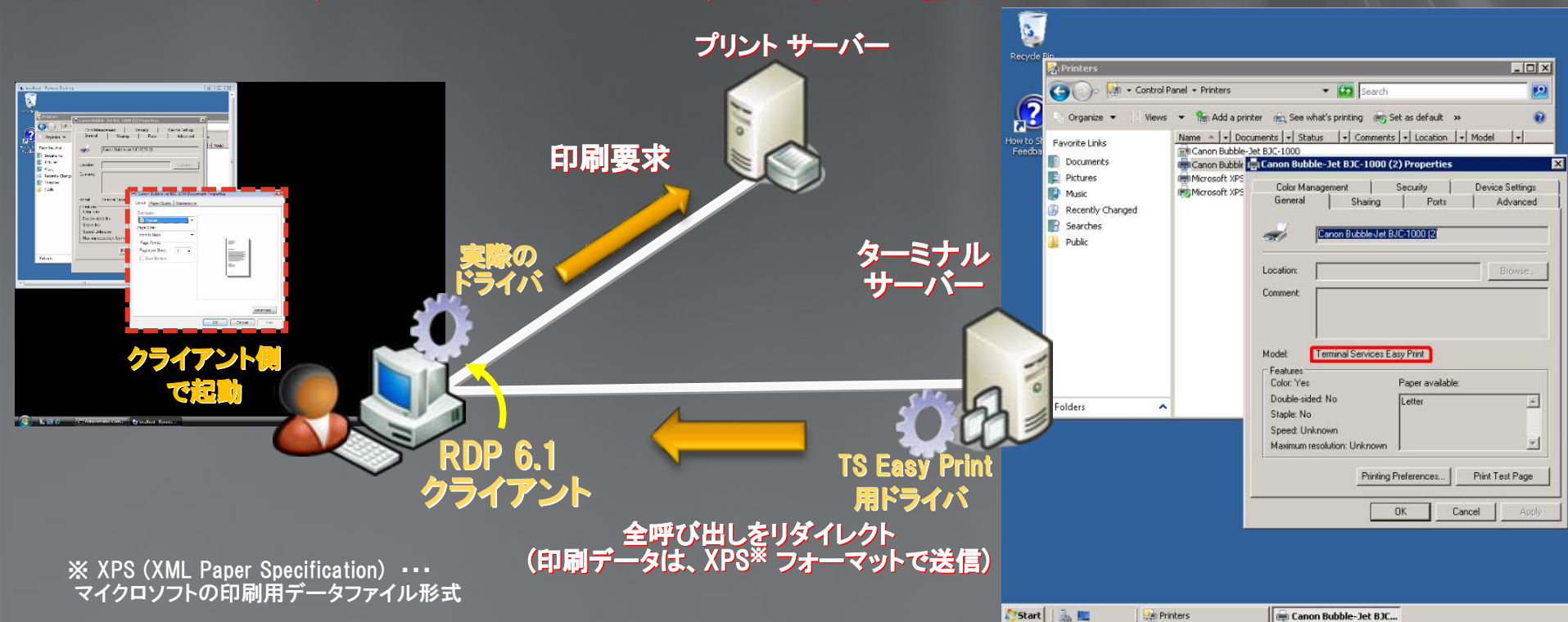
- デバイス リダイレクトの制限ポリシー
 - ローカル ディスクへデータ保存、コピー等を禁止することが可能
 - 自宅 PC からのリモート アクセスやキオスク端末利用時における情報漏洩対策として有効

PC ローカル ディスクへのデータ保存、プリンタ利用を禁止



TS Easy Print

- ターミナル サーバー上にプリンタドライバをインストールしなくても、プリンタのリダイレクトが可能に
- TS Easy Print 用ドライバがプロキシとして動作
 - 印刷に関連した全呼び出しをクライアント上の実際のプリンタドライバへリダイレクト
- どのようなプリンタでも、全プロパティ機能を利用可能
 - プリンタのプロパティ画面は、実際のプリンタドライバがあるクライアント側で起動
- RDP 6.1 (& .NET Framework 3.0) から利用可能予定



ハイパフォーマンスな サーバー仮想化テクノロジー

✓ Hyper-V

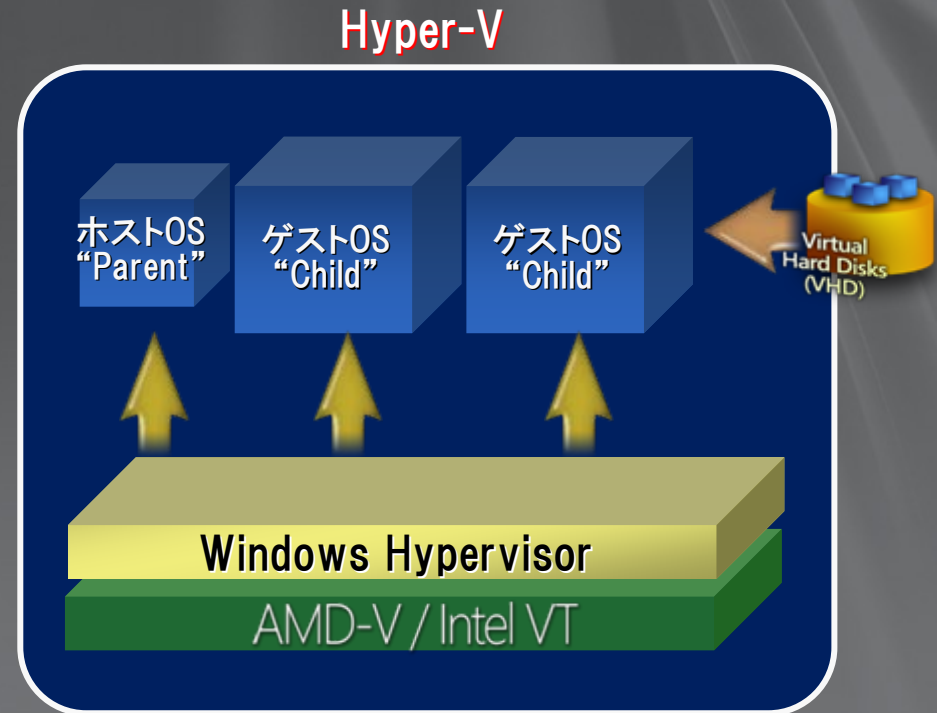
Hyper-V

次世代 仮想化プラットフォーム

- Hypervisor タイプの仮想化を実現
- 高パフォーマンスの為の新 IO 共有モデル
- よりスケーラブルな仮想環境(64 ビット&マルチプロセッサのゲスト)
- 管理 API の標準化と充実(WMI)
- VHD ファイル形式の継承



<従来>



<今後>

※ Windows Server 2008 RTM (開発完了)から 180 日以内に Hyper-V 正式版をご提供予定
Windows Server 2008 RTM には、Hyper-V プレリリース版を搭載

Hyper-V

ゲスト OS(64 ビット, 4 プロセッサの画面)

Microsoft Longhorn Server MP on WH-VIRTMOB (running) - Interactive virtual machine session

File Action Clipboard View Help Debug

System

Control Panel System

File Edit View Tools Help

Tasks

- Device Manager
- Remote Settings
- System Protection
- Advanced System Settings

View basic information about your computer

Windows Edition: Microsoft® Windows® Server™
Copyright © 2006 Microsoft Corporation

System: 64-bit Operating System

Processor:
Memory:
Computer Name, Domain, and Workgroup:
Computer Name:
Full Computer Name:
Computer Description:
Workgroup:

Windows Activation: Windows is activated
Product ID: 78441-006-002308

Windows Task Manager

File Options View Help

Applications Processes Performance Networking Users

CPU Usage: 2%

CPU Usage History

PF Usage: 326 MB

Page File Usage History

Totals		Physical Memory (K)	
Handles	7303	Total	4193024
Threads	428	Available	3710740
Processes	32	System Cache	161748

Commit Charge (K)		Kernel Memory (K)	
Total	334288	Total	49304
Limit	8559228	Paged	20476
Peak	335420	Nonpaged	28828

Processes: 32 CPU Usage: 4% Commit Charge: 326M / 8358M

Start Windows Task Mana... System 10:14 AM

Hyper-V

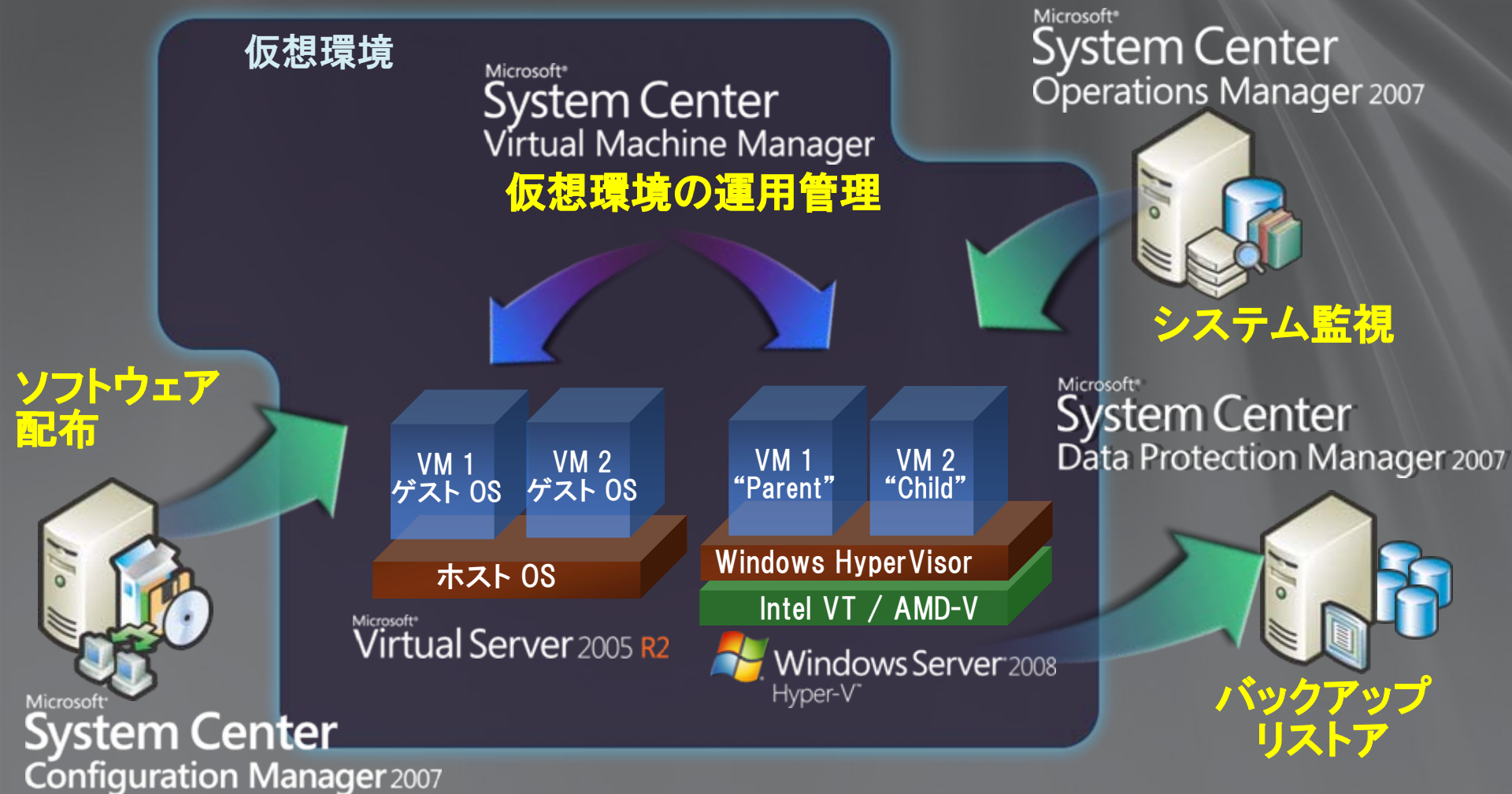
スケーラビリティおよび管理機能の向上

	Virtual Server 2005 R2 SP1	Hyper-V
32 ビットの仮想マシン	○	○
64 ビットの仮想マシン	×	○
マルチプロセッサの仮想マシン	×	○
	各仮想マシンは、 1 プロセッサ	仮想マシンごとに 最大 4 プロセッサ
仮想マシン上のメモリ制限	仮想マシン当たり最大 3.6 GB	仮想マシン当たり 最大 32 GB+
仮想マシンからの物理ディスクの利用 (パススルー ディスク)	×	○
System Center Virtual Machine Manager による管理	○	○
クラスタ環境のサポート	○	○
スクリプトのサポート	○ COM	○ WMI
仮想マシンの最大数	64	64 以上 ハードウェア リソースが許す限り
管理ツール (UI)	Web	MMC 3.0

仮想環境のトータル管理

System Center 群による仮想環境管理

- 仮想化されたプラットフォームのための管理基盤を提供



まとめ

Windows Server 2008

管理性の強化

日々の管理業務に
費やす時間の削減



- サーバーの役割と機能の容易な管理
 - ✓ 初期構成タスク
 - ✓ サーバーマネージャ
- コマンドベースの管理と管理タスクの自動化
 - ✓ PowerShell
 - ✓ Remote Shell
- ファイルシステムとバックアップの進化
 - ✓ トランザクショナル NTFS
 - ✓ SMB2.0
 - ✓ Windows Server バックアップ
- 最小構成によるメンテナンス負荷の低減
 - ✓ Server Core

堅牢性の強化

サーバーとネットワークを
脅威から保護



- ID 管理とアクセス制御の強化
 - ✓ Active Directory サービス
- ネットワークの検疫
 - ✓ ネットワークアクセス保護(NAP)
- サーバーの保護
 - ✓ Windows ハードニング
 - ✓ BitLocker ドライブ暗号化
 - ✓ 強化されたWindows ファイアウォール
- ダウンタイムを削減する高可用性
 - ✓ フェールオーバー クラスタリング

柔軟性の強化

ビジネス ニーズの
変化に迅速に対応



- アクセス場所に左右されないアプリケーション環境
 - ✓ ターミナルサービス
- ハイパフォーマンスなサーバー仮想化テクノロジー
 - ✓ Hyper-V
- コンピュータの迅速な展開を支援
 - ✓ Windows 展開サービス(WDS)
- 強力なWeb アプリケーション基盤
 - ✓ インターネット インフォメーションサービス 7 (IIS 7)
 - ✓ .NET Framework

Microsoft®

本書に記載した情報は、本書各項目に関する発行日現在の Microsoft の見解を表明するものです。Microsoft は絶えず変化する市場に対応しなければならないため、ここに記載した情報に対していかなる責務を負うものではなく、提示された情報の信憑性については保証できません。本書は情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。すべての当該著作権法を遵守することはお客様の責務です。Microsoft の書面による明確な許可なく、本書の如何なる部分についても、転載や検索システムへの格納または挿入を行うことは、どのような形式または手段(電子的、機械的、複写、レコーディング、その他)、および目的であっても禁じられています。これらは著作権保護された権利を制限するものではありません。Microsoft は、本書の内容を保護する特許、特許出願書、商標、著作権、またはその他の知的財産権を保有する場合があります。Microsoft から書面によるライセンス契約が明確に供給される場合を除いて、本書の提供はこれらの特許、商標、著作権、またはその他の知的財産へのライセンスを与えるものではありません。

© 2008 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft, Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標です。